**吾田神社**

吾田神社は、千年以上も前から地域の農村の精神的な中心地であったとされる古参の地です。毎年春に神社で行われるお祭りでは、五穀豊穣を祈願する神楽の儀式が奉納されます。こうした踊りの中には、日本神話の場面を再現したものもあります。地元の信仰では、手研耳命の墓は吾田神社の裏山にあります。神話では、手研耳命は伝説の初代天皇神武とその最初の妻アヒラツ姫の第一子で、吾田と呼ばれる地の出身として記述されています。父の死後、王位を継ごうとした手研耳命は、異母兄弟に邪魔されて殺され、母の故郷の村に葬られてしまう。吾田神社は、悲劇の王子とその母親の両方を神道の神様として祀っています。

神社裏の森林に覆われた丘は、先史時代の埋葬地と考えられています。